

第 10 回日本藻類学会研究奨励賞の募集案内

本賞は、藻類学の発展に積極的に寄与することを期待し、藻類学及びその関連分野において優れた研究成果をあげた若手研究者を表彰するものです。学会ホームページ (<http://sourui.org/welcome.html>) に掲載されている本賞の募集案内をご参照下さい。多数の方々のご応募をお待ちしています。

応募手続

学会ホームページにある日本藻類学会研究奨励賞推薦書をダウンロードし、必要事項を記入の上、事務局宛（右記）に郵送してください。その際、「研究奨励賞推薦書」と必ず朱書きしてください。なお、電子メールによる応募は受付でき

ませんので、ご了承下さい。

応募締め切り日 2013 年 12 月 25 日（水）必着

応募書類送付先・問い合わせ先

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7

東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋環境学部門内

日本藻類学会事務局

Tel & Fax: 03-5463-0528

E-mail: hsuzuki@kaiyodai.ac.jp

会員異動

新入会

機関名または氏名

所属機関または自宅住所

所属変更

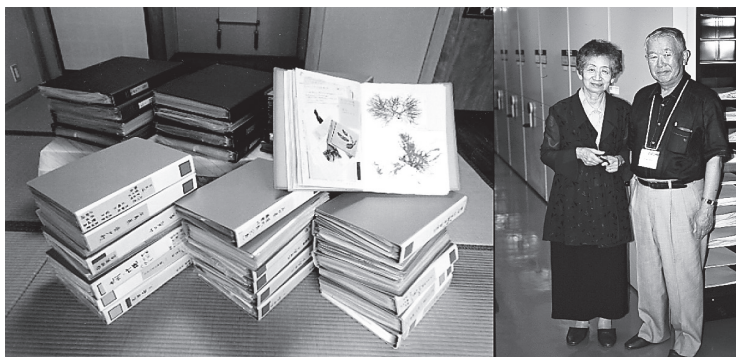
氏名

所属機関



田中博・貞子「広島海藻」コレクション

1954 年から半世紀にわたり広島海藻を調査した田中博・貞子ご夫妻の標本が、博物館や大学（後述）へ寄贈された。田中ご夫妻は、小学生だったご子息の夏休みの宿題をきっかけに広島県沿岸の海藻の採集・観察を開始した。2002 年まで継続して作製された大量の標本は数篇の図鑑や報文に結実し、海藻相の変遷を明らかにしたその成果は本誌にも掲載（田中ら 2010）された。献名された新種（*Pterosiphonia tanakae* セトウチハネグサ）までである。そうしたご夫妻が二人三脚で行う海藻研究の様子は、藻類研究者ならずとも心を打たれるもので、国内外で TV 放送もされている。これまでも国立科学博物館（科博）は、ご夫妻から標本の寄贈を受けているが、今回の寄贈標本には図鑑を纏めたときに使用されたものが含まれており、『広島海藻増補改訂版』（2005）に使われた標本は科博（筆者が受け入れを担当）へ、『弓削海藻一磯の生物』（2002）の標本が愛媛県総合科学博物館（小林真吾氏が担当）へ、それ以外は広島大学水産実験所（加藤亜記氏が担当）へ寄贈された。なお、田中貞子氏は本年 6 月 4 日に逝去された。ご冥福をお祈りする。（北山）



左：諸機関へ寄贈された標本集。 右：2002 年に科博を訪問された田中博・貞子ご夫妻